

## ○令和3年度 文部科学大臣表彰「科学技術賞」受賞（業績概要）

<b>業績名</b>	鯨油の利活用技術の開発
<b>受賞者</b>	株式会社吉田総合テクノ（下関市） 代表取締役社長 吉田 治重（74歳）
<b>＜業績概要＞</b>	
<p>従来、鯨肉加工工程で排出される鯨油は、水分や夾雑物<sup>きょうざつぶつ</sup>※を多く含み、そのままでは原料として利用することができなかった。また、その発する独特な臭気等も影響し、有効利用への動きが進まず廃棄されており、廃棄費用は鯨肉加工会社の負担となっていた。</p> <p>本開発では、水分や夾雑物を多く含む粗鯨油から鯨油を回収するための油水分離装置の開発と、回収した鯨油の、化粧品用、飼料用、食品用、塗料用などそれぞれの利用用途に応じた精製法を確立した。</p> <p>本開発により、効率的な原料鯨油の回収が可能となり、様々な用途に使用される原料としての量の確保を可能とするとともに、水素添加反応等による臭気の除去などの鯨油の利用が進まなかった要因を解消し、鯨油の有効利用の推進に大きく貢献した。</p> <p>本成果は、利用されることなく廃棄されていたために、鯨肉加工会社の負担となっていた鯨油の廃棄費用を低減させ、さらには、商業捕鯨再開を背景とした、資源の有効活用に資する取組として、鯨肉以外でも収益を上げていく仕組み作りに寄与している。</p> <p>※ 様々な異物のこと（脂肪酸など臭気の原因になるもの等）</p>	
 <p>液体ボディソープ 洗顔用化粧石鹸 「ミンキーソープ」 クロミンククジラの精製油を配合 保湿性の高さが特徴</p>	

### ＜参考＞科学技術分野の文部科学大臣表彰科学技術賞の概要

#### 1 趣 旨

我が国の社会・経済、国民生活の発展向上等における最近の科学技術上の成果を顕彰するとともに、その成果に対する功績が顕著な者を表彰する。

※ ①開発部門、②研究部門、③科学技術振興部門、④技術部門、⑤理解増進部門の5部門がある。

#### 2 科学技術賞（技術部門）の対象

中小企業、地場産業等において、地域経済の発展に寄与する優れた技術を開発した者（全国の令和3年度受賞件数 10件（応募件数21件））

（参考）直近の科学技術賞（技術部門）受賞者（山口県関係分 過去3回）

年度	受賞者	業績名	所属
R2	北村 道夫	液晶表示器の設計開発を支援する数値計算技術の開発	シンテック(株)
H26	佐伯 誠 ほか3名	高い活性酸素吸収能を有する野菜パウダー製造技術の開発	三笠産業(株)ほか
H25	山根 和之 ほか2名	自由降下式救命艇の開発	(株)ニシエフほか